

- 歴史講座 13:30~15:00**
 講座番号⑧ 源氏物語講座⑧
 「光源氏の栄華と終焉 一女三宮の六条院への降嫁―」
 日 時:3月27日(土)
 講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 民俗講座 13:30~15:00**
 講座番号③ 「水とくらし 一水源・水路と集落形成―」
 日 時:1月10日(日)
 講 師:大本 敬久氏(当館専門学芸員)
- 考古講座 13:30~15:00**
 講座番号④ 「西予市の近年の前方後円墳の調査成果」
 日 時:2月21日(日)
 講 師:兒玉 洋志氏(西予市教育委員会)

- 特別展「明石寺と四国遍路」関連講座 13:30~15:00**
 講座番号① [民俗]「明石寺と四国遍路展のみどころ」
 日 時:2月20日(土)
 講 師:今村 賢司(当館専門学芸員)
- 講座番号② [考古]「考古資料から見た明石寺周辺」
 日 時:3月6日(土)
 講 師:亀井 英希(当館専門学芸員)
- 講座番号③ [民俗]「茂兵衛の歩んだ道 一標石より考える―」
 日 時:3月7日(日)
 講 師:喜代吉 榮徳氏(東田大師堂住職)
- 講座番号④ [歴史]「絵図で読み解く遍路道」
 日 時:3月13日(土)
 講 師:井上 淳(当館学芸課長)

体験講座
 講座番号⑧ 「やってみよう! 拓本体験」 ※未経験者・初心者対象
 定員10名 日 時:3月21日(日) 13:30~15:00
 講 師:中村 美琴(当館学芸員)
 対 象:小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
 参加費:無料
 【締切】:3月7日(日)

申込方法 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにハガキなどでお申し込みください。※定員に満たない場合は、申込締切後にも受付可です。

お問い合わせ 企画普及グループ・歴史文化講座係
 TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

歴史文化博物館友の会 会員募集

3月1日より2021年度新規会員を募集します。友の会は、愛媛の歴史や民俗について、学び親しむ人たちの集まりです。
 ※感染症対策のため、イベントが中止になることもございます。

- 《会員特典》
- 常設展と企画展を無料で観覧できます。
 - 「会報」や「歴博だより」などをご自宅にお届けします。
 - 友の会主催行事に参加できます。
 - ① 研修旅行(年1回)
 - ② 現地学習会(年2回)
 - ③ クラブ活動(民俗、土器、裂織、古文書)
 - ④ 特別展解説会
 - 季節体験イベントの材料費が割引となります。
 - 博物館の刊行物が割安で購入できます。

- 《入会方法》
1. 会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申込みください。
 2. 郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873
 愛媛県歴史文化博物館友の会
 (ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。)

- 《年会費(4月~翌3月)》
- 【小中学生会員】 500円【家族会員】 4,000円
 - 【高校生会員】 1,000円【賛助会員】 10,000円
 - 【大人会員】 3,000円



《お問い合わせ》
 友の会事務局 TEL(0894)62-6222

特別展「明石寺と四国遍路」の会期の変更について

変更前:令和3年2月13日(土)~4月7日(水)
 ▼
 変更後:令和3年2月11日(木・祝)~3月14日(日)

令和2年度おひなさまイベントの中止について

2月27日・28日に開催を予定しておりました「十二単着付け体験」「おひなさまにへんしん」は感染症対策により中止といたします。



展示スケジュール

2021.1-3

2021 1	テーマ展「山岳霊場奈良山と国史跡等妙寺旧境内展」 2020年11月14日(土)~2021年1月24日(日)	常設展 えひめの歴史と文化	新常設展 密・空と海―内海清美展
	テーマ展「疫病退散 一感染症の歴史と民俗―」 2020年12月9日(水)~2021年1月24日(日)		
2	特別展「明石寺と四国遍路」 2021年2月11日(木・祝)~3月14日(日)		
	テーマ展「宇和島藩領の遍路道」 2021年2月11日(木・祝)~3月14日(日)		
3	テーマ展「おひなさま」 2021年2月11日(木・祝)~3月14日(日)		
	特別展「シルバニアファミリー展」 2021年3月24日(水)~5月30日(日)		

※行事や展示、日程などが、変更・中止される場合がございますので、予めご了承ください。

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
 ■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
 ■観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展・ テーマ展	大人(高校生以上)	520円	420円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	270円	220円
新常設展		観覧無料	

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
 ※テーマ展をご覧いただくには、常設展観覧料が必要です。
 ご利用の際は、再度お確かめください。

Museum Calendar 2021.1-3

1月							2月							3月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
					1	2			1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13		
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20		
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27		
24	25	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31					



愛媛県歴史文化博物館
 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよつづ総合企画
 〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
 【ホームページ】 http://www.i-rekihaku.jp
 ●発行日 令和3年1月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館 No.104
歴博だより
 Museum of EHIME History and Culture News

令和2年度特別展



金剛力士吽形像(二十八部衆像)鎌倉時代 明石寺蔵



金剛力士阿形像(二十八部衆像)鎌倉時代 明石寺蔵

特別展
明石寺と四国遍路
 明石寺の寺宝 特別公開

令和3年 2月11日(木・祝) → 3月14日(日)

九州から最も近い四国霊場で、九州からの遍路の拠点となった源光山円手院明石寺では近年、詳細文化財調査が行われました。本展では寺宝や修験、熊野信仰などに関する文化財を特別に公開し、明石寺の歴史と四国遍路について紹介します。

観覧料 大人[高校生以上] 550円
 65歳以上・小中学生 280円

テーマ展「宇和島藩領の遍路道」も同時開催!

宇和島藩領の村々の集落や耕地を色分けにして描いた延宝4年(1676)作製の「宇和島藩領色分絵図」(出力展示)を中心に紹介。江戸時代の遍路道の姿が絵図を通じてよみがえります。



東多田番所付近「宇和島藩領色分絵図」

会場/文書展示室
 観覧料/常設展観覧券
 大人[高校生以上] 520円
 65歳以上 270円
 小中学生 無料

特別展・常設展のお得なセット券
 大人[高校生以上]850円、65歳以上430円、小中学生280円

愛媛県歴史文化博物館
 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

歴史

しこくへんろ ぎやくう のうきょうちょう 四国遍路の逆打ちの納経帳

年代：明治38(1905)年
所蔵：当館蔵

当館が所在する西予市宇和町には四国八十八箇所霊場第43番札所明石寺があります。今回は地元出身の遍路が明治38年(1905)に四国遍路を行った際の納経帳を紹介します。納経帳の表紙には墨書で「明治卅八年旧正月 奉納経 イヨ東宇和郡田之筋村明石 上甲タケ」(現在の西予市宇和町明石)とあり、巡拝者の氏名が記載され、御朱印(宝印)が押印されています。頁をめくると、最初の頁に、高野山奥院の納経印があり、その次の頁は明石寺から始まり、42番仏木寺、41番龍光寺と逆打ち(反時計回り)でまわり、最後は44番菅生山(大寶寺)で結願となっています。逆打ちは弘法大師に会えると信じられ、道も険しいため、ご利益が順打ちより多いと言われています。

札所名が順番にあらかじめ印刷されている現代の納経帳と異なり、当時の納経帳は袋とじ状にした和紙を綴った冊子のため、基本的に納経帳の記載の順番は四国遍路の巡拝ルートを示しています。本納経帳で興味深いのは、39番延光寺の後に、番外霊場の月山神社を参詣し、67番雲辺寺の後に箸蔵寺、仙龍寺を経由して65番三角寺へとまわっています。そして第60番札所は横峰寺でなく石鎚山の麓にあった前札所の清楽寺で納経しています。また、納経帳の表紙に押印されている宝印は明石寺のものと同じであることから、札始めとなる札所で押印していることがわかります。

ご子孫の証言によると、この資料はタケが夫と三歳の長女を伴って家族三人で遍路を行った時の納経帳で、遍路の目的は早世した兄弟の冥福と長女の健康を祈願するためであったと伝えられています。本資料は明治後期に愛媛の家族が行った四国遍路の実態を示すものとして貴重です。

(専門学芸員 今村賢司)



※本資料は冬の特別展「明石寺と四国遍路」(2月11日～3月14日)で展示します。

歴史

せいとういんさと こしいかまき 成等院哲子詩歌巻

年代：江戸時代後期
法重：一巻 46cm×811cm
二巻 46cm×895cm
所蔵：当館蔵

成等院哲子が詠んだ漢詩や和歌をまとめた二巻の卷子。哲子(靖)は、西条藩9代藩主松平頼学と正室通子の娘にあたります。第一巻は哲子直筆の漢詩や和歌計39首の短冊や色紙などが貼り交ぜて仕立てられたもの、第二巻は西条藩の儒学者上田節が250首を超える作品を集めて書写したものとなっています。

特筆すべき点は、第二巻の巻末に哲子の生涯が簡単に紹介されていることです。それによると、哲子は文政8(1825)年生まれ、三史五経を漢学者細井平洲の門人で西条藩の儒学者となった上田節に、そして和歌を京都の公家一条家出身の母通子に学んでいます。その他にも、琴・茶道・華道・香道も身につけたとありますが、おそらくこれらも母通子に教わるどころが大きかったと考えられます。哲子の結婚は、弘化元(1844)年。陸奥守山藩5代藩主松平頼慎の三男頼永を婿養子として迎え婚姻が結ばれていますが、結婚後まもない弘化3年に病にかかり、哲子は20歳の短い生涯を終えました。

哲子の作品からは、短い人生ながらも大名家のお姫さまとして育てられた教養の高さを感じられます。和歌がしたためられた色とりどりの短冊や花模様や犬が描かれた色紙などをみていると、今も昔も変わらず乙女心をくすぐるファンシーな文具が流通し、彼女の暮らしに彩りを与え楽しませていた様子もうかがえます。

この巻子は、母通子にとって最愛の娘を偲ぶ形見のような存在として作られたと考えられますが、大名家の女性の生涯が記録として残ることは珍しく貴重な資料といえるでしょう。

(専門学芸員 宇都宮美紀)



※「成等院哲子詩歌巻」は、テーマ展「おひなさま」(2月11日～3月14日)にて展示します。

テーマ展

おひなさま

西条藩9代藩主松平頼学の夫人、通子の雛飾りを中心に享保雛、古今雛、次郎左衛門雛など、多彩なおひなさまの姿を紹介します。

2021年

2月11日(木・祝)～3月14日(日)

【会場】考古展示室

【観覧料】常設展観覧券(高校生以上520円、65歳以上270円、小学生無料)

関連ワークショップ

自分だけの 貝合わせをつくろう

日時／特別展会期中の土・日・祝日
10:00～12:00 / 13:00～16:00
参加費／600円(友の会会員は500円)



Sylvanian Families®

特別展

シルバニアファミリー展

会期：2021年3月24日(木)～5月30日(日)

会場：企画展示室、文書展示室、考古展示室

料金：特別展観覧券

(高校生以上1,000円、65歳以上600円、小中学生500円)

※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

1985年、エポック社から発売されたシルバニアファミリー。かわいらしい人形、本物志向のお家と家具は大人気となり、たくさんの人たちに愛されています。本展ではこれまでに登場した1000種類以上を一堂に展示。シルバニア史上、最大規模の展覧会が四国初上陸!

特別展開連イベント

ショコラウサギの フレアちゃんと写真を撮ろう!

日時：2021年5月23日(日)

1日3回、各回30組

参加費：特別展観覧券(当日券)

※HPからの事前申し込み制(受付期間：3/24～5/6)

応募者多数の場合は抽選いたします。



© EPOCH

れきはくのあしあと

HPリニューアルと開館記念イベント

10月30日(金)に博物館ホームページをリニューアルしました!開館情報やイベント・講座情報が以前よりわかりやすく見ることができますので、是非覗いてみてくださいね。また、公式Twitterも開設しましたので、そちらも是非チェックしてみてください!博物館の最新情報をお届けしております!

11月15日(日)には開館記念イベントとして、展示室を無料開放、当館のマスコットキャラクター「はに坊」の焼き印入りどら焼きを記念品として来館者にプレゼントしました。当日はたくさんのご来館をありがとうございました!26周年を迎えた歴博をこれからもよろしくお願いたします。

